

優しさあふれる温かい空気の中で

補助教諭 山岡 理恵



幼稚園からの帰り道、郵便局の脇を教会まで歩いていた時のこと。後ろから来た自転車の高校生が横を通り過ぎて行ったと思ったら、10m位先で止まりました。手を伸ばして何かを拾おうとしています。落し物でもしたのかな？とその指の先に目をやると……なんとそこにはかまきりが！

彼はそのかまきりを捕まえると、横の植え込みにひょいといれ、また自転車をこいで行ってしまいました。きっと、このまま道の真ん中にいたらこのかまきりは

踏み潰されてしまう、と思ったのでしょうか。その想像力と優しさに、私はとても幸せな気持ちにさせてもらいました。

自分のことだけでなく他者のことを思っている行為は、周りの人を幸せにするんだなぁと、人の優しさに触れ、心が動かされるたびに思います。

初雁幼稚園に来て1年半が経とうとしています。初めて子どもたちと過ごした日、この幼稚園の子はなんて優しいんだろう！と驚き、感動したことを思い出します。子どもたちだけではありません。先生も、お母様方も、子どもたちを取り巻くすべての大人のまなざしが、みんな暖かく、優しい。この初日に感じた印象は1年半経った今も変わりません。

ちゅうりっぷ組でこんなことがありました。運動会のダンスの練習。曲の途中、2人組になって踊るところがありました。隣りにいるお友だちとサッと2人組になれた子もいましたが、すぐにお友だちを見つけられず、動けないでいる子も。ぼつんと立っているAちゃんの所に私が行こうとしたその時、Bちゃんが、Cちゃんをつないでいた片方の手を離して、「おいで。いっしょにやろう」とAちゃんに手を伸ばしたのです。3人組になって踊る子どもたちの嬉しそうな顔！生まれてからまだ3、4年しか経っていない子どものこの優しさ！感動でした。

もちろん、まだまだ小さい子どもたち。ぶつかりあうことも、けんかもあります。口より先に手が出てしまうことも。でも、お互いの思いを伝え合って最後には「ごめんね」「いいよ」と仲直り。初めての集団生活で色々なお友だちと関わりあって自ら学んでいくのが幼稚園。失敗やけんかも成長のための大事な勉強。そんな嬉しいことも悲しいことも子どもたちは初雁幼稚園の暖かい空気の中で優しさに触れながら体験しています。

夏の研修会で性格は環境によって作られるというお話を聞きました。初雁幼稚園の子どもたちは間違いなく周囲を幸せにする優しい人になる……と確信している今日このごろです。